

気化熱利用の涼風装置が好調

鎌倉製作所

空調導入比較でミスト採用も

得た。なかでも八千坪ほどの工場の防暑対策では一般の空調設備との比較対照において、同社のミストGYMが十台採用されるなどコストメリット、環境対策においても着実に実績を示した例もある。

ベース製品である強制給排気、換気を行う「ルーフファン」は既に販売累計台数で百万台を突破し、同社のベストセラー商品となった。○二年からは給気装置として涼風給気を行う「クールルーフファン」を市場投入し新たな市場開発へも乗り出した。

同社、マーケティング室の小関裕之氏はルーフファンの現況について「ルーフファンの市場全体は大きな変化は無いものの、これまで無かった大風量タイプで給気側の特長製品であるクールルーフファンを投入したことで、既存の排気側のルーフファンに対する更新需要のきつかけづりができ、相乗効果を生むことができた」としベース製品の更新掘り起こしも着実に図れていることを示した。

既に投入から七年目となったクールルーフファンだが、年間設置台数は○七年単年度で約五百五十台と市場への認知も顕著に進んでいるようだ。同社では年間平均、七百台程度を今後見込んでいくとしている。

一方、今期投入のミストGYM

GYMについては、早くも市場の声を反映しつつ来年度にはリニューアル版の計画を進めている。「コストの問題など市場に受け入れやすいシステムやバリエーションを準備していきたい」と小関裕之氏は言う。同社は今年開催されたHVAC&R JAPAN2008へも初出展し、空調冷熱シーンでの可能性を改めて実感したという。建築設備産業と絡むその市場性に大きな期待も寄せている。

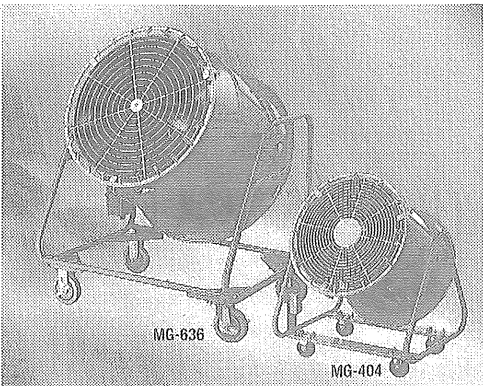
◇

鎌倉製作所のクールルーフファンは水の気化放熱を促進させる特殊なエレメントを内蔵した給気装置。暑い外気をひんやりとした涼風に変えながら給気を行う。主な特長は屋上からの吹き下ろしができるため、専用の機械室などが不要となる

など省スペース化の実現。本体材質に高耐食溶融メッキ鋼板とステンレス鋼板の二種を取り揃えたことで、またゾーン冷却によって高層部の熱気をルーフファンにおいて

強制的に排気し、低層部すなわち作業エリアにだけの絞りを、クールルーフファンにおいて集中的に涼風を供給することができ。熱気と冷機が混ざり合うことを抑えつつ、より少ないエネルギーでの防暑対策を可能とした。

一方のミスト発生機能付強力送風機・ミストGYMはミスト発生用のノズル付リングヘッドを吹き出し口に装着した屋内用の送風機。粒径10〜30μmの微細な霧が爽やかな涼しさを作り出し、強力な気流との相乗効果によってワンランク上の快適空間を実現するものとしている。主に中小工場などを対象に、デモンストレーションを行いつつながら拡販を行っている。



MG-636

MG-404

ミストGYM

め、今夏は活発な引き合いを

天井給排気といった特定分野で強みを見せる産業用換気装置の総合メーカーである鎌倉製作所(社長「堀江威史氏、本社・東京都港区北青山二丁目一」)は○七年度、好調な設備投資を背景に過去十年における最高の収益を記録した。パブル期を除けば実績での最高益となる。今期についても、ほぼ順調な足並みで推移しているとするが、今期市場投入を図った新製品「ミスト発生機能付強力送風機・ミストGYM」が防暑対策を含